

北海道教員採用試験

教養検査

令和8年度(2025年実施)

1 次の文は、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月 中央教育審議会）第5章6の一部である。これを読んで、問1、問2に答えなさい。

- 今回の改訂における教育課程の枠組みの整理は、こうした「高等学校を卒業する段階で身に付けておくべき力は何か」や、「義務教育を終える段階で身に付けておくべき力は何か」を、幼児教育、小学校教育、中学校教育、高等学校教育それぞれの在り方を考えつつ、幼児教育から高等学校教育までを通じた見通しを持って、〔 1 〕で明確にするものである。
- これにより、各教科等で学ぶことを単に積み上げるのではなく、義務教育や高等学校教育を終える段階で身に付けておくべき力を踏まえて、各学校・学年段階で学ぶべき内容を見直すなど、発達の段階に応じた縦のつながりと、各教科等の横のつながりを行き来しながら、教育課程の全体像を構築していくことが可能となる。加えて、幼小、小中、中高の学びの〔 2 〕についても、学校段階ごとの特徴を踏まえつつ、前の学校段階での教育が次の段階で生かされるよう、学びの連続性を確保することを容易にするものである。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | |
|---|--------------|---------|
| ア | 1－小・中学校共通の目標 | 2－工夫・改善 |
| イ | 1－資質・能力の三つの柱 | 2－連携・接続 |
| ウ | 1－小・中学校共通の目標 | 2－連携・接続 |
| エ | 1－資質・能力の三つの柱 | 2－工夫・改善 |

問2 下線部に関して、「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（令和3年1月 中央教育審議会）で示されている内容として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 児童生徒の資質・能力の育成に当たっては、幼児が主体的に環境と関わり、直接的・具体的な体験を通して豊かな感性を発揮したり好奇心や探究心が高まったりしていくなどの幼児期の学習を小学校以降にもつなげていくことが重要である。
- ② ICTはこれからの学校教育に必要不可欠なものであるため、全ての学校種において基盤的なツールとして最大限活用していくことを目的とした取組の充実が重要である。
- ③ 小中一貫教育の取組が進展しつつある中、学習指導要領の着実な実施により義務教育の目的・目標を達成する観点から、9年間を通した教育課程、指導体制、教師の養成等の在り方について一体的に検討を進める必要がある。
- ④ 幼児期から小学校への教育的なつながりを確保するためには、幼児と児童の交流だけでなく、幼児教育施設と小学校の教職員が、両者の教育について理解を深め、また、両者が抱える教育上の課題を共有しておくことが重要である。
- ⑤ 「個に応じた指導」を教育者視点から整理した概念である「個別最適な学び」と、これまで「日本型学校教育」において重視されてきた、「協働的な学び」とを一体的に充実することを目指している。

- ア ①②⑤ イ ①③④ ウ ①③⑤ エ ②③④

2 次の表は、政府が推進すべき自殺対策の指針として定めた「自殺総合対策大綱」の内容の変遷について、年代順にまとめたものである。これを見て、問1、問2に答えなさい。

平成19年（2007年）	社会的な取組により自殺は防ぐことができるということを明確に打ち出す
平成20年（2008年）	自殺対策の一層の推進を図るために、自殺対策加速化プランが決定され、それにあわせて大綱の一部が改正される
平成24年（2012年）	「[1] 社会」の実現を目指すことを、大綱の副題及び冒頭で明示する
平成29年（2017年）	「生きることの阻害要因」を減らし、「生きることの促進要因」を増やすことを通じて、[2] の低下を目指すことが示される
令和4年（2022年）	コロナ禍の自殺の動向を踏まえつつ、総合的な自殺対策の更なる推進・強化が示される

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | |
|---|--------------------|--------------|
| ア | 1ー誰も自殺に追い込まれることのない | 2ー個々のストレス |
| イ | 1ー誰も自殺に追い込まれることのない | 2ー社会全体の自殺リスク |
| ウ | 1ーいのちを支える | 2ー個々のストレス |
| エ | 1ーいのちを支える | 2ー社会全体の自殺リスク |

問2 「自殺総合対策大綱」に示されている内容として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① いじめ防止対策推進法に基づき、政府が推進すべき自殺対策の指針である「自殺総合対策大綱」が決定された。
- ② 青少年へのフィルタリングの普及を図るとともに、インターネットの適切な利用に関する教育及び啓発活動の推進等について示されている。
- ③ 全ての教育関係者がいじめの兆候をいち早く把握して、迅速に対応することやいじめ問題を隠さずに対処していくべきことが示されている。
- ④ 学校においてSOSの出し方に関する教育と併せて、孤立を防ぐための居場所づくり等を推進していくことが示されている。
- ⑤ GIGAスクール構想で配布されているタブレット端末等は、自殺関連情報に触れやすいことから、自殺リスクの把握等の自殺予防の取組には扱わないように示されている。

- ア ①②③ イ ①③⑤ ウ ②③④ エ ②④⑤

3 次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。

アメリカの心理学者ブルーム（Bloom, B.S.）は、教育評価のあり方を、その機能の点から診断的評価、〔 1 〕、総括的評価の三つに区別した。〔 1 〕は、教育活動の途中に行う評価であり、子どもが自らの〔 2 〕を確認することによって、自らの学習活動のあり方を調整していくことが、機能の一つとして挙げられる。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | |
|---|---------|----------|
| ア | 1－認知的評価 | 2－ストレス状態 |
| イ | 1－認知的評価 | 2－目標達成状況 |
| ウ | 1－形成的評価 | 2－ストレス状態 |
| エ | 1－形成的評価 | 2－目標達成状況 |

問2 評価に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 「パフォーマンス評価」は、知識やスキルを使いこなすことを求めるような評価方法で、スピーチや協同での問題解決、実験の実施といった実演等を評価する。
- ② 「集団に準拠した評価」は、学習指導要領に示す目標に照らしてその実現の状況を見る評価である。
- ③ 「個人内評価」は、児童生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況についての評価である。
- ④ 「ポートフォリオ評価」は、児童生徒の学習の記録や作品をファイル等に集積したものを活用した評価である。
- ⑤ 「ルーブリック」を用いた評価は、児童生徒が道德性を発達させていく過程での児童生徒自身の挿話を累積することにより行う評価である。

- ア ①②③ イ ①③④ ウ ①④⑤ エ ②③⑤

4 次の文は、「小学校学習指導要領」（平成29年3月 文部科学省）第1章「総則」の「第4 児童の発達の支援」の一部である。これを読んで、問1、問2に答えなさい。

2 特別な配慮を必要とする児童への指導

(1) 障害のある児童などへの指導

(中略)

イ 特別支援学級において実施する特別の教育課程については、次のとおり編成するものとする。

(ア) 障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るため、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章に示す自立活動を取り入れること。

(イ) [1] や学級の実態等を考慮の上、各教科の目標や内容を下学年の教科の目標や内容に替えたり、各教科を、知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校の各教科に替えたりするなどして、[2] 教育課程を編成すること。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | |
|---|------------|-------------|
| ア | 1－各学校の教育目標 | 2－実態に応じた |
| イ | 1－各学校の教育目標 | 2－創意工夫を生かした |
| ウ | 1－児童の障害の程度 | 2－創意工夫を生かした |
| エ | 1－児童の障害の程度 | 2－実態に応じた |

問2 下線部に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 特別支援学校の教育課程において特別に設けられた指導領域であり、各教科等の指導においても、自立活動の指導と密接な関連を図って行われなければならない。
- ② 自立活動の指導においては、個々の児童生徒が、活動しやすいように自ら環境を整えたり、必要に応じて周囲の人に支援を求めたりすることができるような指導内容を計画的に取り上げることが重要である。
- ③ 自立活動の指導においては、学習指導要領に示された6区分27項目の内容を全て取り扱う必要がある。
- ④ 自立活動の指導においては、児童生徒の主体的に取り組もうという意欲を減退させないように、児童生徒が日ごろから体調や病気の状況を記録したり、人に伝えたりすることは避けた方がよい。
- ⑤ 自立活動の指導に当たっては、個々の児童又は生徒の指導すべき課題を明確にすることによって、指導目標等を設定し、個別の指導計画を作成するものとする。

- ア ①②③ イ ①②⑤ ウ ②④⑤ エ ③④⑤

- 5 次の文は、「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議報告」（令和5年3月 文部科学省）の一部である。これを読んで、問1、問2に答えなさい。

2. 特別支援教育に関する校内支援体制の充実

- 全ての教師が、障害のある児童生徒を含め多様な児童生徒が通常の学級に在籍していることを前提として、全ての児童生徒に対し、高い学習成果が得られるようわかりやすい授業づくりを進め、通常の学級において〔 1 〕学ぶことができるよう、多様性を尊重した学級経営が求められる。その上で、通常の学級担任等が、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒一人一人の実態を適切に把握し、集団における授業の工夫や〔 2 〕の提供を行うことが重要となる。あわせて、校長は特別支援教育を学校運営の柱の一つとして捉え、自らも特別支援教育や障害に関する理解や認識を深めるとともに、自身のリーダーシップを発揮して、特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任、通級による指導の担当教師等を中心とする校内の支援体制を構築し、通常の学級担任等を支えることができるよう、校内支援体制の更なる充実を図ることが必要である。（後略）

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | |
|---|----------|---------|
| ア | 1－安全・安心に | 2－合理的配慮 |
| イ | 1－安全・安心に | 2－学習機会 |
| ウ | 1－基礎・基本を | 2－合理的配慮 |
| エ | 1－基礎・基本を | 2－学習機会 |

問2 下線部に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 特別支援学校には、小中学校等の要請に応じて、特別の支援を必要とする子どもの教育に関し助言又は援助を行うよう努める機能が位置付くが、特別支援学校に「通級指導教室」を設置することはできない。
- ② 通級による指導の実施形態としては、「自校通級」「他校通級」「巡回指導」の3つのパターンが存在する。
- ③ 通級による指導では、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談・指導が基本である。
- ④ 平成30年の学校教育法施行規則の一部改正により、通級による指導を受けている児童生徒について、個別的教育支援計画の作成が義務付けられている。
- ⑤ 高等学校においても、小中学校と同様にニーズが高まっていることを踏まえ、平成30年度から通級による指導が制度化されている。

- ア ①②③ イ ①②⑤ ウ ②④⑤ エ ③④⑤

- 6 次の文は、「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」（令和7年3月文部科学省）第1編 総則の「第1章 本ガイドラインの目的等」の一部である。これを読んで、問1、問2に答えなさい。

(1) 本ガイドラインの目的

(前略)

また、学校には、指導要録、〔 1 〕、生徒指導等の記録、進路希望調査票、児童生徒等の住所録等の重要性が高い情報が保管されている。児童生徒の育成においては、学校教育に直接関わる複数の関係者により児童生徒に関する情報が〔 2 〕で活用される。学習においても、教職員や他の児童生徒と協働学習活動を実践する際、児童生徒が生み出す情報は本人の思考の記録であるとともに学習評価の材料となり、必要に応じて他児童生徒に開示する等〔 2 〕に活用される。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | |
|---|-----------|-------|
| ア | 1－教育課程編成表 | 2－限定的 |
| イ | 1－答案用紙 | 2－限定的 |
| ウ | 1－教育課程編成表 | 2－多目的 |
| エ | 1－答案用紙 | 2－多目的 |

問2 上記ガイドラインに示されている内容として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 教職員等が情報資産を不正に利用したり、適正な取扱いを怠ったりした場合、コンピュータウイルス等の感染、情報漏えい等の被害が発生し得る。
- ② 情報の漏えいは、モバイル端末の不正な持ち出しや移動中にモバイル端末が盗難に遭い、かつ不正アクセスに遭うことが原因で発生する場合が多い。
- ③ 情報漏えい事案の多くが、児童生徒の過失から生じており、学校の実態等を踏まえつつ、児童生徒の遵守事項を適正に定めるとともに、その実効性を高める環境を整備することが重要である。
- ④ 学校におけるICT環境整備を進めるに当たっては、校務系・学習系を問わず、システム更改時においてはクラウドサービスの利用も有力な選択肢として、検討を進めていくことが重要である。
- ⑤ 教職員等は、情報セキュリティに関する障害・事故及びシステム上の欠陥を認知した場合に、解決に向けて自ら原因を分析した後、情報セキュリティ管理者に報告することが必要である。

- ア ①②④ イ ①③⑤ ウ ②③⑤ エ ③④⑤

7 次の文は、「小学校学習指導要領」（平成29年3月 文部科学省）前文の一部である。これを読んで、問1、問2に答えなさい。

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい〔 1 〕を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、〔 2 〕の実現が重要となる。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | |
|---|--------|---------------|
| ア | 1－学校教育 | 2－持続可能な社会 |
| イ | 1－人材育成 | 2－持続可能な社会 |
| ウ | 1－学校教育 | 2－社会に開かれた教育課程 |
| エ | 1－人材育成 | 2－社会に開かれた教育課程 |

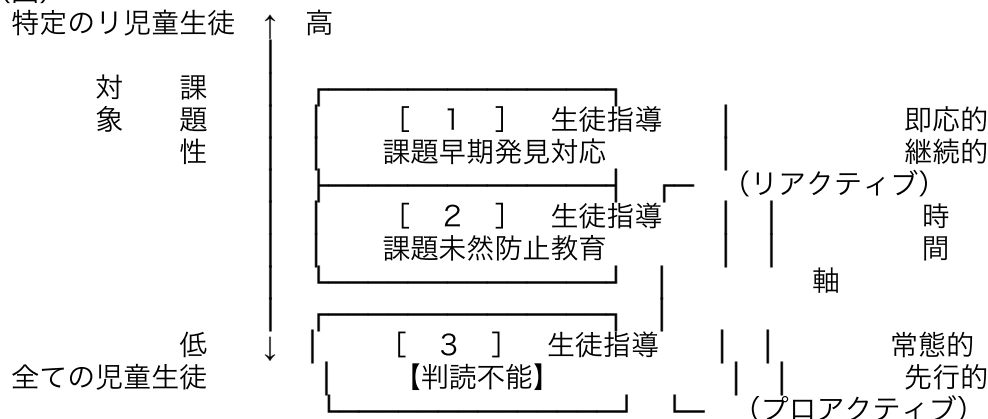
問2 下線部に関して、「『新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について（答申）』（平成27年12月 中央教育審議会）に示されている内容として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 地域の将来を担う人材を育成し、自立した地域社会の基盤の構築を図る「地域を核とした学校づくり」を推進する。
- ② 学校運営協議会は、学校と地域住民や保護者等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる仕組みとして意義があり、学校運営協議会を設置する学校をコミュニティ・スクールと呼ぶ。
- ③ 地域とともに歩む学校の運営に備えるべき機能として「熟議」「協働」「マネジメント」の3つを再認識していく必要がある。
- ④ 地域ぐるみで子供たちの義務教育9年間の学びを支える仕組みとして、中学校区の複数の学校が連携した教育支援体制を構築することは重要である。
- ⑤ 学校運営の責任者として教育活動等を実施する権限と責任は校長が有するものであるが、学校運営協議会が校長に替わり学校運営を決定、実施する権限を持つことができる。

- ア ①②④ イ ①③⑤ ウ ②③④ エ ③④⑤

8 次の図は、「生徒指導提要」（令和4年12月 文部科学省）の第1章「生徒指導の基礎」に示されている「生徒指導の重層的支援構造」である。これを見て、問1、問2に答えなさい。

(図)



問1 空欄1、空欄2、空欄3に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | | |
|---|-----------|-----------|-----------|
| ア | 1－発達支持的 | 2－課題予防的 | 3－困難課題対応的 |
| イ | 1－課題予防的 | 2－困難課題対応的 | 3－発達支持的 |
| ウ | 1－困難課題対応的 | 2－発達支持的 | 3－課題予防的 |
| エ | 1－困難課題対応的 | 2－課題予防的 | 3－発達支持的 |

問2 「生徒指導提要」に示されている内容として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 共感的な人間関係の育成においては、「予防活動」「危機介入」「事後対応」の大きく3つの段階に応じた学校体制が求められる。
- ② 自己存在感の感受においては、ありのままの自分を肯定的に捉える自己肯定感や、他者のために役立った、認められたという自己有用感を育むことが極めて重要である。
- ③ 義務教育においては、施設又は設備を損壊する行為を繰り返し行う等、性行不良であって、他の児童生徒の教育に妨げがあると認められる児童生徒であっても、出席停止を命じることはできない。
- ④ 児童生徒の自己決定の場を広げていくためには、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っていくことが求められる。
- ⑤ 児童生徒理解においては、児童生徒を心理面のみならず、学習面、社会面、健康面、進路面、家庭面から総合的に理解していくことが重要である。

- ア ①②③ イ ①②⑤ ウ ②④⑤ エ ③④⑤

- 9 次の文は、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」（平成28年法律第105号）の一部である。これを読んで、問1、問2に答えなさい。

第3条 教育機会の確保等に関する施策は、次に掲げる事項を基本理念として行われなければならない。

- 一 全ての児童生徒が豊かな学校生活を送り、安心して教育を受けられるよう、学校における環境の確保が図られるようにすること。
- 二 不登校児童生徒が行う多様な学習活動の実情を踏まえ、個々の不登校児童生徒の状況に応じた必要な支援が行われるようにすること。
- 三 不登校児童生徒が安心して教育を十分に受けられるよう、学校における環境の整備が図られるようにすること。
- 四 義務教育の段階における普通教育に相当する教育を十分に受けていない者の〔 1 〕しつつ、その年齢又は国籍その他の置かれている事情にかかわらず、その能力に応じた教育を受ける機会が確保されるようにするとともに、その者が、その教育を通じて、社会において〔 2 〕に生きる基礎を培い、豊かな人生を送ることができるよう、その教育水準の維持向上が図られるようにすること。

(後略)

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | |
|---|------------|-------|
| ア | 1－問題を十分に把握 | 2－協働的 |
| イ | 1－意思を十分に尊重 | 2－自立的 |
| ウ | 1－問題を十分に把握 | 2－自立的 |
| エ | 1－意思を十分に尊重 | 2－協働的 |

問2 上記法律に関する「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する基本指針」（平成29年3月 文部科学省）に示されている内容として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 不登校児童生徒に対する支援を行う際は、当該児童生徒の状況によっては休養が必要な場合があることも留意する。
- ② 不登校児童生徒がフリースクール等の民間の施設を利用することは、在籍校での出席認定や成績評価の対象にならないが、学校と施設が相互に必要な情報を交換することが重要である。
- ③ 家庭で多くの時間を過ごしている不登校児童生徒に対し、その状況を見極め、ICT等を通じた支援、家庭等への訪問による支援を充実する。
- ④ 夜間中学では、様々な事情により義務教育未修了のまま学齢を超過したものに対して教育機会を提供しているため学齢生徒は受け入れることはできない。
- ⑤ 不登校児童生徒が登校してきた場合は、保健室や相談室、学校図書館等も活用しつつ、安心して学校生活を送ることができるようにする。

- ア ①②③ イ ①③⑤ ウ ②④⑤ エ ③④⑤

10 次の文は、「こども基本法」（令和4年法律第77号）の一部である。これを読んで、問1、問2に答えなさい。

(目的)

第1条 この法律は、日本国憲法及び児童の権利に関する条約の精神にのっとり、次代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわたる〔 1 〕の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その権利の擁護が図られ、〔 2 〕を送ることができる社会の実現を目指して、社会全体としてこども施策に取り組むことができるよう、こども施策に関し、基本理念を定め、国の責務等を明らかにし、及びこども施策の基本となる事項を定めるとともに、こども政策推進会議を設置すること等により、こども施策を総合的に推進することを目的とする。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | |
|---|---------|----------------|
| ア | 1－人格形成 | 2－将来にわたって幸福な生活 |
| イ | 1－資質・能力 | 2－将来にわたって幸福な生活 |
| ウ | 1－人格形成 | 2－生涯にわたって安全な生活 |
| エ | 1－資質・能力 | 2－生涯にわたって安全な生活 |

問2 「こども基本法」に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 「こども基本法」では、18歳までの年齢を「こども」としている。
- ② こども施策は、全てのこどもが、大事に育てられ、生活が守られ、愛され、保護される権利が守られ、平等に教育を受けられることを大切にして行わなければならない。
- ③ こども施策は、全てのこどもが年齢や発達の程度に関係なく、自分に直接関係することに意見を言えたり、社会の多様な活動に参加できたりすることを大切にして行わなければならない。
- ④ こども施策には、居場所づくりやいじめ対策など、大人になるまで切れ目なく行われるこどもの健やかな成長のためのサポートが含まれる。
- ⑤ こどもや若者が意見を言える場や仕組みづくりとして、インターネットを使ったアンケートや審議会などへのこどもや若者の参画が想定される。

- ア ①②③ イ ①④⑤ ウ ②③④ エ ②④⑤

11 次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。

2022年10月以降、入国制限の緩和により、訪日外国人旅行者数が回復傾向にあるが、北海道をはじめ人気の高い観光地においては、訪日外国人旅行者のマナー違反や混雑により地域住民の生活環境が悪化するなど、[1] がみられる。

一方、日本に在留する外国人は、2024年6月末に約358万人と高い水準を維持しており、今後も在留する外国人は増加していくことが見込まれる。日本において日本人と外国人が安心して暮らせる社会を実現するためには、日本人が外国人について理解するとともに、外国人が日本のルール・習慣などに関する情報を正確かつ迅速に得られることが重要である。

なお、1993年に創設された技能実習制度は、制度目的と運用実態がかい離しているという指摘もあり、発展的に解消し、人材育成及び[2] を目的とする育成就労制度を創設する法改正を行った(2024年6月成立)。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | |
|---|-------------|--------|
| ア | 1ーオーバーツーリズム | 2ー国際貢献 |
| イ | 1ーダイバーシティ | 2ー国際貢献 |
| ウ | 1ーオーバーツーリズム | 2ー人材確保 |
| エ | 1ーダイバーシティ | 2ー人材確保 |

問2 下線部に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 災害をきっかけに取組が始まった「やさしい日本語」は、多言語で翻訳・通訳をするほかに、情報伝達を行う手段として広く活用することが期待されている。
- ② 誰からも理解されるデザインであるピクトグラムは、公共施設や地図、標識等で用いられており、初めてオリンピックに導入されたのは1964年の東京オリンピックである。
- ③ 在留の外国人労働者においては、納税の義務はないが、適切に行政サービスを楽しむことができるようにすることは大切である。
- ④ 障害のある児童生徒のために作成された、教科書の内容を音声化した音声教材は、法改正によって、外国人児童生徒も使用して学習することができるようになった。
- ⑤ 公立学校では高等学校を除く小・中学校において、在籍する日本語指導が必要な児童生徒に対して、「特別の教育課程」を編成した日本語指導を実施することが可能である。

- ア ①②④ イ ①③⑤ ウ ②④⑤ エ ③④⑤

12 次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。

著作権の関係で、掲載できません。

問1 下線部「タンテキ」の「タン」と同じ漢字を含むものの組合せを選びなさい。

- ① タンセイな字を書く
- ② 釈放をタンガンする
- ③ ゴウタンな性格の人
- ④ キョクタンな例を出す

ア ①③ イ ①④ ウ ②③ エ ②④

問2 文章の内容として、適切なものの組合せを選びなさい。

(省略)

13 次の問1、問2に答えなさい。

問1 ある学年で50点満点のテストを実施した。下の表は、1組の結果をまとめた度数分布表である。次の(1)～(6)のことが分かっているとき、表の空欄A～Cに当てはまる値の組合せを選びなさい。

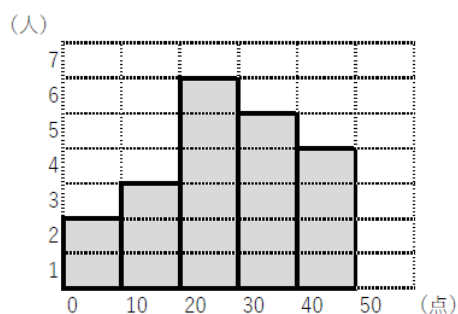
- (1) 1組の合計人数は、20人である。
- (2) 10点以上20点未満の人数は、3人である。
- (3) 1組の最頻値は、25点である。また、その階級の度数は、6（人）である。
- (4) 20点以上の人数は、13人である。
- (5) 40点以上50点未満の人数は、全体の1割である。
- (6) 50点の生徒はいなかった。

階級（点）	度数（人）
以上 未満	
0 ～ 10	(A)
10 ～ 20	()
20 ～ 30	(B)
30 ～ 40	(C)
40 ～ 50	()
50～～～～	()
合計	()

- ア A-4 B-6 C-5
 イ A-4 B-6 C-2
 ウ A-3 B-6 C-5
 エ A-3 B-5 C-2

問2 下の図は、問1と同様のテストにおける2組の結果を、ヒストグラムに表したものである。このヒストグラムから求める平均値として、正しいものを選びなさい。

- ア 23
 イ 25
 ウ 28
 エ 33



14 次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。

農業は自然環境のみならず、経済などの社会環境にも影響され、大きく三つの経営形態に分化してきた。最も伝統的な農業形態として、熱帯での焼畑農業、乾燥帯での〔 1 〕、アジアでの集約的稲作農業や集約的畑作農業など、自家消費を主目的とする自給的農業が成立した。

その後、産業革命の影響で工業化が進むと、ヨーロッパを中心に混合農業、地中海式農業、酪農等といった商業的農業が拡大した。

さらに20世紀以降は、農業機械や化学肥料を使った効率的な農業経営が普及するようになった。その代表的な例として、アメリカ合衆国やオーストラリアなどの大規模な穀物栽培や牧畜を行う企業の農業があげられる。

現在は、生産、流通、販売に限らず、品種の改良や食品への加工等を多角的に進めて収益を拡大させるなど、〔 2 〕として、徹底的な合理化とコスト管理によって労働生産性を高めている。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | |
|---|----------|-----------|
| ア | 1－オアシス農業 | 2－アグリビジネス |
| イ | 1－オアシス農業 | 2－スマート農業 |
| ウ | 1－園芸農業 | 2－アグリビジネス |
| エ | 1－園芸農業 | 2－スマート農業 |

問2 アジアの農業に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 偏西風の影響で降水量が多い東アジアから南アジアにかけての平野部では、水田での稲作を中心とした農業が盛んである。
- ② 中国北部やインド西部など、降水量があまり多くない地域では、小麦やトウモロコシなどの畑作が盛んに行われている。
- ③ 東南アジアでは、かんがいによって、年に2回、稲を栽培する二毛作が各地で行われている。
- ④ フィリピンやインドネシアなどでは、プランテーションで天然ゴムや油やし、バナナ等の輸出用の作物が生産されている。
- ⑤ ベトナムはコーヒー豆の生産量がブラジルに次ぐ世界第2位となっている。

- ア ①②④ イ ①③⑤ ウ ②③④ エ ②④⑤

15 次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。

衣服は、着ているうちに汚れが付いたり、ほころびやしわが生じたりする。衣服の汚れを落とす洗濯には、水と洗剤を使用する湿式洗濯（ランドリー）と、有機溶剤で洗う乾式洗濯（ドライクリーニング）がある。

湿式洗濯に使う洗剤の主成分である界面活性剤は、繊維表面や汚れに吸着して、汚れを布から離れやすくし、水中に分散させて〔 1 〕働きをする。乾式洗濯は、有機溶剤を用いて汚れを落とす方法で、主に〔 2 〕の汚れが落ちやすい。

衣服を清潔で快適に、長く着用するためには、繊維の種類や特徴などに合わせた適切な手入れ、収納、保管をすることが大切である。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | |
|---|-----------------|-------|
| ア | 1－汚れを分解する | 2－水溶性 |
| イ | 1－汚れを分解する | 2－油性 |
| ウ | 1－汚れが再び布に戻るのを防ぐ | 2－水溶性 |
| エ | 1－汚れが再び布に戻るのを防ぐ | 2－油性 |

問2 下線部に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 綿や麻の衣服にアイロンをかける場合は、高温設定が適している。
- ② ポリエステルは綿や麻に比べて、しわになりにくく、静電気を帯びにくい。
- ③ 毛や絹の衣服は虫害を受けやすいので、防虫剤を入れて収納するとよい。
- ④ 毛や絹などの日光により黄変や劣化する素材は、陰干しや裏返して干すとよい。
- ⑤ 毛や絹の衣服を家庭で洗濯する場合には、弱アルカリ性洗剤を使用するのがよい。

- ア ①②④ イ ①③④ ウ ②③⑤ エ ③④⑤

16 次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。

原子は原子核と電子からできており、原子核は陽子と中性子からできている。同じ元素の原子には、陽子の数は同じでも、中性子の数が異なるものがあり、このような関係にある原子を、互いに [1] という。

また、原子が電子を失ったり受け取ったりして、電気を帯びたものをイオンという。

例えば、水素原子は電子を [2] 陽イオンになり、これを水素イオンという。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | |
|---|-------|-----------|
| ア | 1－同素体 | 2－1個失って |
| イ | 1－同素体 | 2－1個受け取って |
| ウ | 1－同位体 | 2－1個失って |
| エ | 1－同位体 | 2－1個受け取って |

問2 イオンに関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① どのような水溶液でも、溶質が陽イオンと陰イオンに分かれている。
- ② 塩化銅水溶液中では、銅原子が陰イオン、塩素原子が陽イオンになる。
- ③ 水溶液の酸性やアルカリ性の強さを表すpHの値は、水素イオンの割合によって決まり、pHの値が7よりも小さいと酸性で、値が小さいほど酸性が強くなる。
- ④ 金属の種類によって、イオンへのなりやすさに違いがある。
- ⑤ 塩酸に水酸化ナトリウム水溶液を加えて中性になった水溶液から水を蒸発させると、ナトリウムイオンと塩化物イオンが結びついて塩化ナトリウムの結晶が生じる。

- ア ①②④ イ ①③④ ウ ②③⑤ エ ③④⑤

17 次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。

日本では、一定の年齢以上の全ての国民が選挙権を持つ〔 1 〕選挙の原則が日本国憲法で保障されている。日本の選挙権年齢は、公職選挙法で満20歳以上とされていたが、2016年から満18歳以上に引き下げられた。

また、選挙に立候補する権利である被選挙権も、一定の年齢以上の全ての国民に認められており、参議院議員と都道府県知事の被選挙権が得られる年齢は満〔 2 〕歳以上である。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | |
|---|------|------|
| ア | 1－平等 | 2－25 |
| イ | 1－平等 | 2－30 |
| ウ | 1－普通 | 2－25 |
| エ | 1－普通 | 2－30 |

問2 選挙に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 選挙で選ばれた代表者が集まって議会を作り、物事を話し合って決める制度を直接民主制という。
- ② 落選して議席を得られなかったその政党や候補者の得票を死票とよぶことがあり、死票は小選挙区制で多く、大選挙区制では少ない傾向にある。
- ③ 比例代表制は、国民の様々な意見を反映しやすいが、議会が数多くの政党に分かれ、物事を決めるにくくなることもある。
- ④ 参議院議員選挙は、選挙区制と比例代表制で行われ、2年ごとに定数の半分ずつが改選される。
- ⑤ 公示・告示日から投票日の前日までにおいて、有権者は、ホームページ、SNS、動画共有サービスを利用した選挙運動ができる。

- ア ①③④ イ ①③⑤ ウ ②③⑤ エ ②④⑤

18 次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。

人の体には、外部の環境が変化しても体の中を一定に保つ働きがあり、これを〔 1 〕という。〔 1 〕には、例えば、暑いときには汗をかいたり、皮膚の血管を〔 2 〕て体の熱を外に逃がしたりして体温を下げ、寒いときには体を震わせて熱を作り、体温を上げるといった体温調節の働きがある。

このほかにも、酸素の薄い高地で生活すると、赤血球の数やヘモグロビンの量が増え、体へ送る酸素の量を保てるようになるなど、人の体には環境への適応能力がある。しかし、体が環境に適応することができるのは一定の範囲内のことであり、限界がある。気温が非常に高い場所で活動続けると熱中症になる危険が高まったり、逆に気温が非常に低い山や冬の海で遭難すると、凍傷になったり、低体温症になって凍死したりすることもある。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | |
|---|------------|-------|
| ア | 1ーホメオスタシス | 2ー収縮し |
| イ | 1ーホメオスタシス | 2ー広げ |
| ウ | 1ーホットフラッシュ | 2ー収縮し |
| エ | 1ーホットフラッシュ | 2ー広げ |

問2 熱中症に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 熱中症には、気温、湿度、気流、ふく射熱などが大きく関係しており、室内や冬でも起こることがある。
- ② 熱中症と思われる人を救護する際には、涼しい場所へ避難し、体に水を直接かけたりはせず、手のひらや額を集中的に氷のうで冷やす。
- ③ 脱水症状は体内の水分が不足することによって起こるもので、口やのどが渇く、熱が出るといった症状のほか、頭痛や吐き気、尿が出にくい等の症状がある。
- ④ 熱中症を起こさないためには、普段から環境に適した服装をすることや、冷房の適切な利用を心がけること、食事、睡眠、休養を十分にとることが大切である。
- ⑤ 大量の汗をかくと水分が体外に出ていき、体内のナトリウムイオン等の濃度が高い状態になるため、熱中症の予防には、こまめに水分補給することが大切である。

- ア ①③④ イ ①④⑤ ウ ②③④ エ ②③⑤

19 次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。

著作権の関係で、掲載できません。

問1 (省略)
問2 (省略)

kyosai-guild.jp

20 次の文を読んで、問1、問2に答えなさい。

火山は、地下にある岩石が高温のために溶けてマグマになり、上昇して地表に噴き出し、周辺に積み重なってできる。このマグマが地表に噴き出す現象を噴火といい、噴火の際に噴出されたマグマがもとになってできた物質を火山噴出物という。火山をつくるマグマは、マグマのもとになる岩石の違いによって粘り気が異なり、火山の形の違いに大きく影響する。マグマの粘り気が大きい場合、火山の形は〔 1 〕になることが多い。

このような形の火山として、1944年に噴火が始まり、約1年で250mほどの高さに盛り上がってきたのが、現在の〔 2 〕である。

問1 空欄1、空欄2に当てはまる適切な語句の組合せを選びなさい。

- | | | |
|---|----------|---------|
| ア | 1ードーム状 | 2ー雲仙普賢岳 |
| イ | 1ードーム状 | 2ー昭和新山 |
| ウ | 1ー傾斜が緩やか | 2ー雲仙普賢岳 |
| エ | 1ー傾斜が緩やか | 2ー昭和新山 |

問2 火山に関する記述として、適切なものの組合せを選びなさい。

- ① 火山噴出物の色は、マグマの粘り気が小さいと白っぽく、粘り気が大きいと黒っぽくなる。
- ② マグマが冷えて固まった火成岩には、化石が含まれる。
- ③ 大量の火山噴出物を噴出するなどして、火口付近の広い範囲にわたって陥没した地形をカルデラという。
- ④ 過去の噴火記録をもとにして、今後の噴火による災害の予測をまとめたハザードマップがつけられている。
- ⑤ 火山活動の恩恵の例として、マグマの熱を利用した温泉や地熱発電がある。

- ア ①②④ イ ①④⑤ ウ ②③⑤ エ ③④⑤

第1問	問1	イ	第11問	問1	ウ
	問2	イ		問2	ア
第2問	問1	イ	第12問	問1	イ
	問2	ウ		問2	-
第3問	問1	エ	第13問	問1	ア
	問2	イ		問2	ウ
第4問	問1	エ	第14問	問1	ア
	問2	イ		問2	エ
第5問	問1	ア	第15問	問1	エ
	問2	ウ		問2	イ
第6問	問1	エ	第16問	問1	ウ
	問2	ア		問2	エ
第7問	問1	ウ	第17問	問1	エ
	問2	ウ		問2	ウ
第8問	問1	エ	第18問	問1	イ
	問2	ウ		問2	ア
第9問	問1	イ	第19問	問1	-
	問2	イ		問2	-
第10問	問1	ア	第20問	問1	イ
	問2	エ		問2	エ